

名 称	関西品質工学研究会		
代 表	<ul style="list-style-type: none"> ・会長 鐵見 太郎 (三菱電機) ・副会長 井上 徹夫 (シマノ) 		 <div data-bbox="1572 382 1839 518" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>会長 鐵見太郎</p> </div>
顧 問 幹 事 役 員	<ul style="list-style-type: none"> ・顧問 原 和彦 (元松下電工) 中井 功 (アサヒ技研) ・顧問 清水 豊 (オフィス・ワイエス) ・幹事 山口新吾 (パナソニック) 嶋崎 庸介 (北陽電機) 河島清孝 (村田機械) 武重伸秀 (マツダ) 川西将範 (リコーテクノロジーズ) 加藤重己 (ブラザー工業) 		
会 員	<ul style="list-style-type: none"> ・54名 (2018年4月17日現在) ・会員の所属団体・・・神戸製鋼所、東レエンジニアリング、シマノ、ITEQ International、パナソニック、リコー、リコーテクノロジーズ、三菱重工業、三菱電機、三菱日立パワーシステムズ、コニカミノルタ、アサヒ技研、ブラザー工業、村田機械、村田製作所、富士通周辺機、デンソーテン、日立マクセル、和歌山大学、北陽電機、摂南大学、オムロン、小林製薬、エクセディ など 		
設 立	<ul style="list-style-type: none"> ・1994年1月15日 	沿革	
所 在 地 (活動場所)	<ul style="list-style-type: none"> ・主会場は、日刊工業新聞大阪支社 大阪「天満橋」駅すぐ 		
H P	<ul style="list-style-type: none"> ・http://kqerg.jimdo.com/ 		<ul style="list-style-type: none"> ・1993年 発足準備委員会開催 ・1994年 1/16発足 ・2002年 第1回関西地区品質工学シンポジウム (滋賀・京都・関西の3研究会合同による開催) ・2002年 10周年記念誌作成 ・2007年 15周年記念講演会開催 ・2009年 当研究会編「品質工学ってなんやねん？」発刊 ・2018年 25周年記念講演会開催予定
連 絡 先	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局：堺市堺区老松町3-77シマノ 6シグマ <ul style="list-style-type: none"> ・担当：太田勝之 ・Mail：kansai.ge@gmail.com ・HP：https://kqerg.jimdo.com/ 		

名 称	関西品質工学研究会
会の主旨	<p>《理念》（2018年4月制定）</p> <p>会員相互による品質工学を中心とした技術の研究を通じて、人材育成と社会の生産性向上に寄与します。</p>
主な活動イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会 年12回 <ul style="list-style-type: none"> ・各自の取組についての相談/発表に対する議論/指導。 ・外部講師による講演（年数回）。 ・WG活動（研究資産整理、更なる社会貢献の検討、事例相談）。 ・合宿 7月（今年は25周年記念講演会に引き続き実施） <ul style="list-style-type: none"> ・1泊2日、日常から離れて徹底議論。 ・シンポジウム 10月（中部、滋賀、京都との共催） <ul style="list-style-type: none"> ・招待者による講演、事例発表。 ・主催・共催4研究会からの事例発表 ・移動研究会 適宜 <ul style="list-style-type: none"> ・会員企業を訪問しての研究会、工場見学（AM）付の場合が多い。
その他活動	<ul style="list-style-type: none"> ・品質工学会公式イベント（大会/企業交流会など）の参加費補助 ・日本規格協会関西支部主催品質工学関連セミナー受講料補助
※入会に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・入会申込は当研究会HPから (https://kqerg.jimdo.com/研究会について/入会案内/) ・お問い合わせ先：事務局 太田勝之 (Mail: kansai.qe@gmail.com) ・入会検討のための見学も随時受け付け

1994-2001 初代会長 原和彦(創成期)

1994年1月15日創設 14名でスタート

- 以降、田口玄一博士の定期的な招聘や相互の事例研究など、毎月の定例会を中心に活動。
- 定例会開催場所を固定できず、会場確保の苦労が絶えなかった時期も。

2002-2009 2代会長 芝野広志(拡大期)

広く会員を募集し、2006年には会員数70名超

この時期、現在の研究会活動の骨格がほぼできあがる。

- 開催会場を固定化、会員募集キャンペーン。
- シンポジウムを開始、毎年恒例に。

2010-2017 3代会長 太田勝之(定着期)

運営基盤を強化(会員の多様化等に対応)

- WG活動を立ち上げ(現在は定期的開催)。
- 田口玄一論説集の輪読を定期的実施。
- HPなど運営環境を整備。

2018-?? 4代会長 鐵見太郎(??期)

25年を振り返り、研究会のあり方を見直し中

- 新WG立ち上げ(研究資産整理WG・社会貢献WG)。
- 研究会外、品質工学“界”外との連携強化を模索。



合宿の様子(2014/7/5-6)

【合宿】

毎年恒例。今年は25周年記念講演会に引き続き実施。



オムロン(株)綾部工場での研究会の様子(2012/3/23)

【移動研究会】

- 2007年 村田機械(株)本社
- 2011年 三菱重工業(株)高砂製作所
- 2012年 オムロン(株)綾部工場
- 2013年 造幣局(本局・大阪)
- 2014年 三菱電機(株)伊丹地区
- 2016年 ダイハツヒューモビリティワールド
- 2016年 エクセディ(株)本社

議論の活性化、会員のレベルアップを目的に積極的に招聘

【2017年度の招聘者】

- 品質工学会会長 谷本 勲 氏
- 富士ゼロックス 救仁郷 誠 氏
- 広島県立総合技術研究所 高辻 英之 氏
- ASI 田口 伸 氏
- YKK 後藤 浩司 氏、畠山 鎮 氏
- 東北品質工学研究会 小野 元久 氏
- 静岡品質工学研究会 上杉 伸二 氏
富島 明 氏
- 香川品質工学研究会 岩永 禎之氏

以下
新会長の抱負
(大きなつづやき)

自由闊達な議論ができる場

(外からは喧嘩に見えることもあるらしいが...)

【Episode 1】

当初、田口玄一博士より示された標準SN比の計算式は、信号値の大きさの影響を受けるものだった。当研究会で徹底検討した結果、「やはりこれはおかしい」との結論に達し、田口博士来阪時に激論を交わしたが、両者譲らぬ平行線で終わった。その約1年後、信号値の影響を受けない現在の計算式が田口博士より修正版として提示された。

【Episode 2】

田口博士を招聘した定例会にて。ある会員が事例発表し、田口博士より一通りの指導コメントがあった。その直後、別の会員が「先生はああ言ったが、私ならこうする」といきなり板書を始めた。

◆困った司会:「田口先生、いかがでしょうか？」

◆田口博士:「まあ、それでもいいのではないですか」

今後、こうしていきたい！

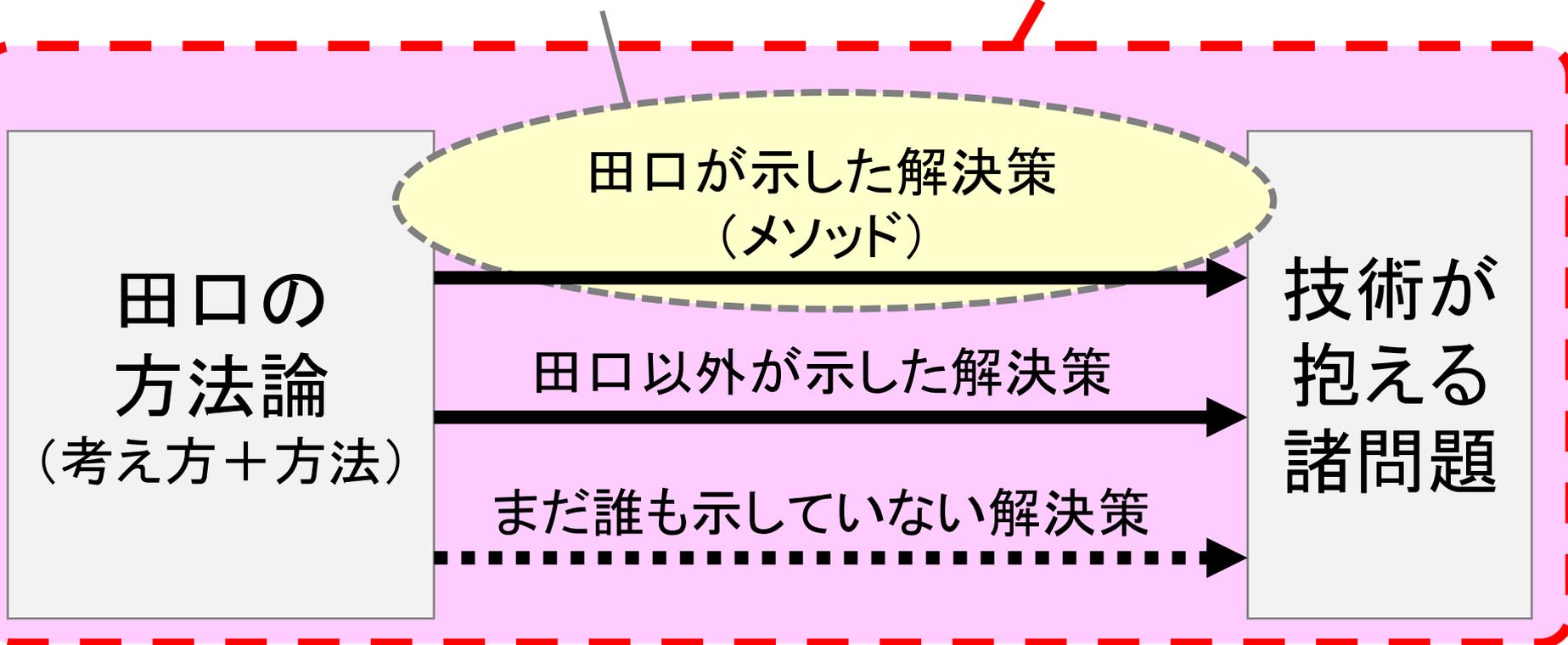
更なる社会貢献に向かって

Before 田口の示した手法を通して、技術にどう応用できるかを研究

▼
After 技術そのものの探求を通して、田口の方法論を中心に研究

従来の研究範囲

今後の研究範囲



具体的には、例えば…

◆ 事例発表、相談の場面で

Before 「それは品質工学の(手法が当てはまる)問題ではない」

▼
After 技術として本来どう考え、どんな方策で解けば良いかを議論

- 技術の仕事の進め方としての是非等を議論
- 社会全体の生産性の視点に立って具体策を検討
- 従来からある品質工学手法のあてはめに拘らない。品質工学の枠を一旦外し、相手の立場にたって議論。
(発表者/相談者やその企業/団体の立場で)

このような議論を通して、

- ① 参加会員により多くの貢献ができるのではないだろうか
- ② 田口博士が手法群を提案した背景や考え方も見えてくるのではないだろうか

過去・現在を見据えつつ、未来に思いを馳せる

2018年7月6日(金)13:00~17:00(懇親会 17:30~)

会場

講演会 トラストシティカンファレンス・新大阪
懇親会 大阪ガーデンパレス

参加費

講演会:1,000円 懇親会:1,000円

参加締め切り間近！！

参加申込はHPから

関西QE 25周年

検索 

詳しくは大会予稿集にはさみ込みのチラシまたは当研究会HPで

《予告》今年もやります！

10月9日(火)「品質工学シンポジウム」
一般参加歓迎

今年で25周年
今後ともご愛顧よろしく申し上げます

